

0 JA池田町
青年部を結成する



1 コミュニタ
オープン

2 農業・農村
体験の開始



4 ピザ・パン
づくり体験

5 10坪の
農学校
開講

6

7 わたしの
きもち便
通販事業
開始



8 大学生コラボの
ネイジャー冒険隊
合宿の開始

10

11 移住者を
職員として受け入れ



12 ポラバイトを実施

13

14 いなかもん学校の開催

15

16 こってこていけだ
出品開始

17



18

19 ばんこもち製造開始

20

21 リノベーション実施

22



31 祝30周年

30



29

キッチンカー
製作

28

27 かきもちの
事業継承

26



25

24 コロナ、
ワーケーション
開始

23

22 経営戦略の
見直し



熱血田舎もんが
試行錯誤を
繰り返して30年、
そして系総理大臣賞へ。
全4回のトークで
ひも解く、30年の
「ひたむきな歩み」
農山村の誇りを
次世代へ
つなぐ...

1回目

7/28 (火)

19:00-21:00



山崎広美氏



澤崎美加子氏



角田義幸氏



1回目

7/28 (火)
19:00 - 21:00

なぜコムニタができたのか？

30年前、なぜ9000万円もの借金をしてコムニタをつくったのか。当時の熱量と内閣総理大臣賞に至るまでの最初の志を聞く。



山崎広美氏 澤崎美加子氏 角田義幸氏



2回目

8月

決定日時は
Instagramにて

コムニタの仕事づくり論 きれいごと抜き「経営-失敗談」

終わった事業、消えた夢、順風満帆ではなかった30年。手痛い失敗や経営の危機をどう乗り越えてきたのか。アーカイブには残さない?!現場のリアルな葛藤を共有。



山崎広美氏 澤崎美加子氏



3回目

10月

決定日時は
Instagramにて

現場からみるコムニタ - 働くこと、続けること -

関東から移住し、コムニタで働くこと10年以上の笠原さん(農業)と橋本さん(米粉パン)をゲストに、農山村の現場で働くリアルを知る。



笠原辰徳氏 橋本智絵氏

こんな人に
聞いてほしい!



- ・池田町民／池田に関わりがある
- ・コムニタをよく知らない
- ・農業や地域に関する活動家・経営者・事業者
- ・池田のいまを知りたい
- ・やる気や勇気をもらいたい
- ・地域で一步踏み出したい



4回目

11/1 (日)

開催時刻は
Instagramにて

池田町と農山村のこれから

これまでの30年を振り返り、これからをどう歩むか。人口減少や高齢化を超えて、農山村が持つ豊かさや可能性を特別ゲストの渋沢寿一氏と語り合う。



渋沢寿一氏

1952年生まれ。1980年東京農業大学大学院修了。国際協力機構専門家としてパラグアイに赴任後、長崎オランダ村、ハウステンボスの企画、経営に携わる。現在は、渋沢寿一事務所代表。全国の高校生100人が「森や海・川の名人」をたずねる「聞き書き甲子園」の事業や、各地で開催する地域人材育成のための「なりわい塾」など、森林文化の教育・啓発を通して、人材の育成や地域づくりを手がける。岡山県真庭市では、1998年から、木質バイオマスを利用した地域内循環経済「里山資本主義」の推進に努める。2012年より、世田谷区教育委員。明治の実業家・渋沢栄一の曾孫。農学博士。著書に「森と算盤」(大和書房)他



会場：コムニタ 福井県今立郡池田町土合皿尾2-22-1
予約：googleフォームから申し込み
参加費：1,500円(コムニタの一品付き) ※中学生以下無料
問い合わせ：ikedacommunity2026@gmail.com